

第 49 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 20 年 2 月 21 日 (木) 14 時 00 分～16 時 15 分

II 会 場 5 階「大会議室」

III 出席者 議 長 岩崎学長

評議員 工藤、腰塚、泉、波多野、吉武、谷川、水林、坪井、江口、赤平、田中、田瀬、清水、中山、山田、北脇、宮本、林、岡本、海老原、大塚、野村、西川、吉田、石井、植松、宇川、中村、五十殿、吉川、本澤、石田、佐藤、深水、KAISER、塩尻、板野

代理出席 金子道夫(附属病院長代理)

IV 配布資料

第 48 回教育研究評議会議事録(案)-----	[審議資料 1]
国立大学法人筑波大学名誉教授称号授与規則の運用基準について(案)-----	[審議資料 2]
教育職員免許法の改正に伴う教員免許更新制への本学の対応について(案)-----	[審議資料 3]
「国際科学オリンピック特別選抜」(仮称)実施案-----	[審議資料 4]
緊急医師確保対策に係る医学群医学類の入学定員増について(概要)-----	[審議資料 5]
平成 20 年度研究科に配分する研究経費(教員当教育研究費)の配分方針(案)-----	[審議資料 6]
耐震診断実施状況と耐震化推進方針(案)-----	[審議資料 7]
役職教員の選考について-----	[報告資料 1]
平成 19 年度業務監査報告(中間報告)-----	[報告資料 2]
平成 18 事業年度決算における剰余金の取扱いについて(案)-----	[報告資料 3]
平成 20 年度「グローバルCOEプログラム」申請一覧-----	[報告資料 4]
「つくば・地域連携推進室(仮称)」の設置について(案)-----	[報告資料 5]
平成 20 年 4 月 1 日付け事務組織の改編について(方針審議)-----	[報告資料 6]
Directory of World Repositories-----	[報告資料 7]
第 21 回及び第 22 回国立大学法人筑波大学経営協議会議事次第-----	[報告資料 8]
「筑波大学オープンコースウェア」パンフレット-----	[席上配付資料]
盗難事件とその防止について(通知)-----	[席上配付資料]

V 議 事

[審 議]

1 第 48 回教育研究評議会議事録の確認

第 48 回教育研究評議会議事録(案)は、原案どおり承認された。

2 名誉教授称号授与規則の運用基準について

波多野副学長から、審議資料 2 に基づき、名誉教授授与資格の弾力化を図るための同運用基準の概要について説明があった。

これに対して、同運用基準第 2 項第 2 号は「卓越した功績」の基準が不明瞭であり削除すべきである旨、また、教授歴が 10 年に満たないが、本学に長年在籍し教育研究に多大な貢献をした教員に対する名誉教授称号の授与を可能とする運用基準としてほしい旨等の意見があり、引き続き検討のうえ、次回の本評議会において改めて審議することとなった。

3 教員免許更新制への本学の対応について

岩崎学長から、本件を巡るこれまでの経緯及び制度上の課題等について報告があり、次いで、谷川副学長から、審議資料 3 に基づき、更新講習の概要と実施するうえでの課題及び試行の実施案等について説明があった。

引き続き、審議が行われ、本学において更新講習を行う方向で具体的な検討を進めること、及び文部科学省の委託事業として試行の実施を申請することが承認された。

なお、谷川副学長から、試行の申請にあたっては、実施計画書に更新講習を担当する具体の講師名を記載することとなるが、最終的な決定ではなく変更が可能であることを留意願いたい旨の付言があった。

4 国際科学オリンピック特別選抜の実施について

工藤副学長から、審議資料 4 に基づき、国際科学オリンピック特別選抜を実施する目的、出願要件及び選考方法等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5 緊急医師確保対策に係る医学群医学類の入学定員増について

工藤副学長から、審議資料 5 に基づき、茨城県からの寄附講座を本学に設置し、医師不足地域や診療科で勤務する医師の養成プログラムを実施するために、医学群医学類の入学定員増のための手続きを行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 平成 20 年度研究科に配分する研究経費(教員当教育研究費)の配分方針について

水林副学長から、審議資料 6 に基づき、平成 20 年度に各研究科に教員当教育研究費を配分するに当たっての配分方針、及び配分額のシミュレーション結果等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7 耐震診断実施状況と耐震化推進方針について

泉副学長から、審議資料 7 に基づき、これまでの耐震診断の実施状況と診断結果並びに本学における今後の耐震化推進案の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

関連して、石田教育企画室長から、耐震改修に併せて、省エネルギー及び低炭素化に向けた取り組みを進めてほしい旨の意見があり、泉副学長から、校舎改修推進本部の改修方針として、省エネルギー及びCO₂削減に取り組むこととしている旨の説明があった。

[報告]

1 役職教員の選考について

波多野副学長から、報告資料 1 に基づき、部局長等の内申に基づき学長が選考を行った、本年 4 月 1 日から新たに任期が始まる役職教員について報告があった。

2 平成 19 年度業務監査報告(中間報告)について

合志監事から、報告資料 2 に基づき、平成 19 年度業務監査の中間報告として、学群・学類、下田臨海実験センター・菅平高原実験センター及び附属学校で実施した監査結果の概要、並びに、監査により明らかとなった各組織の課題等について報告があった。

3 平成 18 事業年度決算における剰余金の取扱いについて

泉副学長から、報告資料 3 に基づき、平成 19 年 12 月 28 日付けで文部科学大臣から承認された、本学の平成 18 事業年度決算における剰余金の取扱いについて報告があった。

4 平成 20 年度グローバルCOEプログラムの申請状況について

水林副学長から、報告資料 4 に基づき、平成 20 年度グローバルCOEプログラムの申請状況について報告があり、申請作業に携わった関係者に対して謝意が表された。

- 5 「つくば・地域連携推進室(仮称)」の設置について
泉副学長から、報告資料5に基づき、つくば・地域連携推進室(仮称)を設置する目的、運営体制、業務内容、及び今後の活動予定等について報告があった。
- 6 平成20年度事務組織について
吉武副学長から、報告資料6に基づき、平成20年度における事務組織の改編に係る基本方針及び具体的な改編内容等について報告があった。
関連して、吉田第三学群長から、部局長を補佐する企画立案能力を備えたスタッフを各支援室に配置する必要がある旨の意見があった。
また、田中システム情報工学研究科長から、学長及び各担当副学長による事務組織のマネジメントのあり方及び現場の教員の意見を吸い上げるシステムの重要性について、宮本人間学群長から、学群の業務に対応する支援室が複数にまたがり、学群の事務的・財政的負担が増えている現状を改善する必要性について発言があった。
- 7 スペイン国立研究協議会(CSIC)によるリポジトリの世界ランキングについて
植松附属図書館長から、報告資料7に基づき、当該ランキングにおいて、附属図書館の「つくばリポジトリ」が第8位にランクされた旨の報告があり、併せて、学術雑誌に掲載された論文を積極的に同リポジトリへ登録してほしい旨の要請があった。
- 8 第21回及び第22回経営協議会報告
工藤副学長から、報告資料8に基づき、1月25日(金)及び2月15日(金)に開催された、第21回及び第22回経営協議会の議事の概要について報告があった。
- 9 早稲田大学との包括協定について
岩崎学長から、本学と早稲田大学との包括連携協定締結に向けた検討状況について報告があり、WGを設置し具体的な連携内容を取りまとめるなど、実効性のある協定となるよう協議を進めていきたいので、同大学との連携協力に対する提案があれば、教育及び研究担当副学長に相談してほしい旨の要請があった。
- 10 筑波大学オープンコースウェアのパンフレットについて
工藤副学長から、席上配付資料に基づき、本学のオープンコースウェアに関するパンフレットを作成したので、各組織において周知願いたい旨の報告があった。
- 11 盗難事件の発生とその防止について
吉武副学長から、席上配付資料に基づき、総合研究棟Dにおいて発生した盗難事件を受け、警備体制の強化や盗難防止のための対策を至急講じるが、各組織においても、窓及びドアの施錠並びに電気機器の盗難防止対策等を徹底してほしい旨の要請があった。
- 12 平成19年度給与改定に伴う差額支給について
組織・人事部長から、人事院勧告を踏まえた本学の平成19年度給与改定に伴う給与の差額を、常勤職員については3月14日(金)に、非常勤職員については3月17日(月)に支給することとなった旨の報告があった。

以上